

(仮称) 蕪崎市民プラザ
基本構想に関する提言書

平成21年9月7日

蕪崎駅前施設利活用検討委員会

【検討経過】

J R 蕪崎駅前施設（旧蕪崎ショッピングセンタールネス）につきましては、本年 3 月に営業を終了し、閉鎖しました。このため同年 6 月 1 日に蕪崎駅前施設利活用基本構想について、市長より以下、3 点の諮問を受けました。

- 1 市が当該施設を取得することについて
- 2 建物を再利用することについて
- 3 当該施設の利用計画（市民が真に望む施設）について

この内容を踏まえ、当該地は駅前の交通結節点であるという立地条件から、新たなまちづくりの交流拠点として市の財政状況を考慮するなかで、今後の利活用の方向性についての検討は急務であると認識し、市民アンケートの結果や施設の現地視察、更には他市の類似施設の利活用状況等を考慮するなかでこれまでに 5 回の検討を行いました。

【基本的な考え方】

本委員会に諮問された J R 蕪崎駅前施設（仮称）市民プラザの利活用については、当該施設が市の玄関口という立地を活かし、蕪崎市全域の新たな生涯学習機能を核とした複合型施設として整備するとともに、子どもから高齢者まで多くの市民が集い、学びそしてふれあいを深めながら、第 6 次長期総合計画で計画されている「公共施設の再編による新たな拠点を活かしたにぎわい」を創出し、市街地の活性化を図り、さまざまな活用が可能な新たな魅力ある施設として早期転換を図ることが妥当であると考えます。

なお、利活用計画の策定にあたっては、将来の蕪崎市のまちづくりのグランドデザインを念頭に、既存の公共施設の利用状況・利便性等をも十分検証したうえで当該施設への集約を図るなど中長期的な市の財政状況に配慮しつつ、市民ニーズに応えた内容となるよう期待します。

【諮問に対する提言】

1. 市が当該施設を取得することについて
 - ・交通結節点（J R 駅前・バスターミナル前）という立地条件から市の顔に相応しく、また、市民にとって必要な施設整備のために市で取得すること。
2. 建物を再利用することについて
 - ・現在の建物を再利用することとするが、既存建物のフロアの間取りを有効に活かした施設配置とするなど改修コストの低減に努めること。
 - ・高齢者や障害者への配慮はもとより市民だれもが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮すること。
 - ・明るく開放的で、自然エネルギーを利用した省エネ等、環境への負荷の低減に配慮すること。

3. 当該施設の利用計画（市民が真に望む施設）について

立地条件を最大限に活かし、市民が主体的に文化活動・生涯学習活動に取り組み、世代を超えた交流を楽しめる、中心市街地に集う人々が気軽に立ち寄りたくなる拠点の創出を図ること。具体的な利活用方法としては次のものが望まれる。

【コミュニティの拠点】 人と人、地域と地域の情報交換や文化・芸術などを通じた幅広い交流ができる場

- ・ギャラリースペース・・・市民の文化活動・芸術活動の発表の場
- ・スタジオスペース・・・市民の音楽活動の練習の場
- ・サービススペース・・・各種行政サービスが受けられる場
- ・ホールスペース・・・子どもから高齢者まで世代間交流が図られる多目的な利用が可能な場
- ・フリールームスペース・NPO等の市民の自主的なサークル活動等で自由に使える場

【生涯学習の拠点】 気軽に立ち寄れ、誰もがいきいきと学び創造できる生涯学習の場

- ・図書館スペース・・・図書・学習・情報収集などの各機能を有した場
- ・講座・集会スペース・・・市民が多目的に学習や交流が可能な場
- ・郷土の偉人スペース・・・小林一三、保阪嘉内等の郷土の偉人に学ぶ場
- ・公民館スペース・・・中央公民館、葦崎地区公民館機能を有する場

【乳幼児・児童健全育成の拠点】 子ども達が保護者と一緒に健康的で安全に集うことができる場

- ・育成スペース・・・子どもと親が伸び伸び遊べ、他の親子とも交流できる子育て支援の場

【立地条件を活かした人の回遊創出の拠点】

- ・市の地場産業や観光情報の発信拠点としての場
- ・飲食店やコンビニなどテナントの入居
- ・駅（ホーム）と施設を直結するペDESTリアンデッキの設置
- ・駐車場はパークアンドライド方式の導入

【留意すべき事項】

- ・市民会館のすべての機能の移転
- ・補助事業の採択を受けた事業実施